

学校教育での消費者教育支援として 生産現場を疑似体験できる「バーチャル工場(施設)見学」サイトを公開

企業や団体のお客様対応部門の責任者・担当で組織する公益社団法人消費者関連専門家会議(通称・ACAP=エイキャップ、所在地:東京都新宿区)では、このたび、ACAPホームページ内に『バーチャル工場(施設)見学』サイトを公開いたしました。

本サイトは、消費者教育推進法の施行を受け、「学校」を対象とした消費者教育支援策の一つとして設置したものです。教員支援を目的とし、授業における使用教材として、教室に居ながら企業の製品が生まれる“生産ライン”や“人が働いている現場”などを学べる内容になっており、ご家庭でも楽しくご覧いただけます。

このバーチャル工場(施設)見学では、インターネットを通じた動画や静止画などにより工場や施設の見学の疑似体験ができます。児童・生徒の皆様が、“ものづくり”の仕組みや工程の実際を知ることにより、創造力を豊かにし、新たな発見や気づきが生まれるきっかけとなるよう願っております。

ACAPでは、消費者教育支援の一環として、今後「バーチャル工場(施設)見学」サイトの拡充を図ってまいります。

■サイトの特長

- ・約600社の企業が集うACAPの特色を活かし、工場や施設の見学サイトをもつ会員企業を調査し、延べ39社・73サイトをまとめています。
- ・業種別、製品別に分類してあり、これまで個々の企業のホームページを検索していた手間が大幅に省けます。
- ・ACAPのトップページからダイレクトアクセスができ、見やすい画面で、お子さまでも検索することができます。

■サイトの概要

1. 名称	ACAPバーチャル工場(施設)見学
2. URL	http://www.acap.or.jp/v_kengaku
3. リンク先数	延べ39社・73サイト [食品]26社・55サイト、[生活用品]13社・18サイト
	【食品】:「食品全般・加工食品」、「調味料」、「米・麦・麺」、「牛乳・乳製品」、「お菓子」、「飲料」
	【生活用品】:「台所用品」、「水回り用品」、「入浴剤」、「衛生用品」、「化粧品」、「医薬品」、「文房具」、「カメラ・AV機器」、「クルマ・バイク」

■閲覧の方法

ACAPホームページのトップページのバナーよりご覧いただけます。

URL: <http://www.acap.or.jp/>

【バナー】



【ACAPバーチャル工場(施設)見学】



<推薦のことば>

「ACAPバーチャル工場(施設)見学の活用について」 日本消費者教育学会 西村隆男会長

ふだん生活の中で接する製品が、いったいどうやって作られるのだろうか、原料がどんなもので、どんなしかけでモノが世の中に生み出されてくるのだろうか、こうした疑問は好奇心のかたまりである子どもたちにとって、知りたい謎のようなものです。

今回、ACAPが開発された「バーチャル工場(施設)見学」は、そんな子どもたちの期待に応えてくれるものでしょう。

学校では、社会科見学の一環として工場見学を行う機会もありますが、日程を組んだり、先方の企業と交渉したり、当日の引率も大仕事です。ネットを通じて教室や自宅でも見学し、工場見学を疑似体験できるこのウェブをさまざまな場所でぜひ活用してほしいと願います。